

# 都市型農業を支える担い手の育成

県南農林事務所つくば地域農業改良普及センター

当管内は、研究学園都市という知的な環境の魅力やつくばエクスプレス開通による都心との交通の利便性向上により、新規参入で農業を志す人が年々増加しています。

都市近郊という立地条件を活かしながら、意欲の高い就農志向者が円滑に就農できるよう、就農支援体制を確立するとともに、就農後の定着に向けたフォローアップに力を入れています。

## 担い手確保に向けた体制づくり

就農者の確保・育成について H26 年度に管内の関係機関（市町、JA、普及センター）の実務者で構成される就農支援協議会担当者会議を新たに設置しました。

H27 年度は、担当者会議を年 2 回、先進地事例研修会を開催し就農相談における役割分担や情報共有を図り、「新農業人フェア in いばらき」に就農支援協議会で出展した結果、10 件の相談があり新規就農者確保につながることができました。



つくば地域就農支援協議会

目次	
はじめに	
第1章 新規就農者の動向	
第2章 就農支援体制と各機関 団体の役割	
第3章 就農相談活動	
第4章 青年等就農計画の申請 認定	
第5章 就農までの支援策	
第6章 経営類型別経営指標	
第7章 新規就農者の事例	

つくば地域就農支援マニュアル

## 就農支援マニュアルの活用

H26 年度に「つくば地域就農支援マニュアル」を作成し、H27 年度からマニュアルを活用した就農支援を開始しました。その結果、迅速・丁寧な相談業務を行うことができ、関係機関・団体が共通した認識で就農相談ができるようになり、相談件数 58 件、青年等就農計画認定者数 11 名（再認定者 3 名を含む）、新規就農者数 18 名（雇用就農者含む）という結果となりました。

## 就農後のフォローアップ

新規参入者を中心に新規就農者の育成と定着を図るために、就農 5 年目までの新規就農者を対象に農業学園を年 15 回開催しました。

また、就農 5 年目までの新規就農者全員と就農希望の研修生（合計 81 名）の経営実態調査として、経営カルテ作成に取り組むとともに、継続的な巡回指導をした結果、就農給付金（経営開始型）受給者（41 名）の中で、目標販売金額 550 万円を達成したものが 7 名から 12 名に増加しました。



農業学園（先進農家事例研修）